

—Only One— 世界に一つだけの作品に感動・感謝

山河在り

東陽中学校だより

平成二十九年年度第四号

平成30年3月9日
文責 米村

すばらしい高田焼の一品が 中学時代を蘇らせるものに

前回の学校だよりでも紹介しました「肥後高田焼」の作品が、ついに完成しました。三月一日、朝の生徒集会終了後、図書室にて一人の生徒へ作品が渡されました。十二月一日に実施した陶芸教室の際には、参加した生徒全員が熱心に作陶し、先生方も指導を忘れて作品に集中したほどでした。その作品も含め、展示会を開催したかったのですが、年度末で時間が確保できずどこにかお礼状書きの時間を確保したところでした。作品の中には、焼き上げの過程で底にヒビが入ったものもありましたが、陶芸教室を指導してくださった伝七釜の青木様が一つ一つ丁寧に継いで頂きました。この「金継」の手法は、日本の伝統的な器の修復法で、震災で割れた貴重な器が「金継」の手法で新たに蘇り、その価値を増大させています。

四百年の伝統を受け継ぐ高田焼の特徴である「象嵌」は生徒自らのデザインと作業によるもの。加えて、緑がかかった釉薬の色とガラス膜に浮かび上がる網目模様



格的な高田焼の作品としての表情を高めています。高田焼の伝承者として日々精進されている青木様の心を感じる一品が子どもたちの宝となることでしょう。

学校生活やこれからの人生において他人と競い合い結果を求められる時は必ずやってくる。「ナンバーワンを目指せ」です。しかし、今回の高田焼は世界に一つだけの作品です。「オンリーワン」何物にも代えがたいものです。今後、壁にぶつかって立ち止まった時、高田焼に触れ、輝いていた中学生時代を思い出し、また前へ進んで欲しいと願います。日々使用しながら、割れてしまっても「金継」で蘇らせればよいのです。伝統文化に感動し感謝します。



生徒作品の数々

祝！閲覧件数10万件達成

12月27日未明に、東陽中学校のホームページ閲覧件数が10万件を突破したもようです。記念すべき10万件目を狙っていたのですが、28日午後を開いた時にはすでに超えていました。深夜にも閲覧者がいることにも驚きました。担当の松原先生が修学旅行先からも行事の様子をアップしたりと、素早い更新で情報を発信しています。毎日の給食も写真付きの献立を紹介しています。引き続きのご利用をお願いします。

<http://jh.higo.ed.jp/toyojhs/>

3月7日17時
現在で111,202
件

裏面もご覧ください

新たな年度への準備はすでにスタートしている

三月十日、東陽中学校第四十九回卒業証書授与式が開催されます。十三名の三年生が、母校を旅立つ晴れやかな日です。十四日には公立高校の合格発表があり、卒業生の進路も確定するはずですが、高い学力と真面目な生活態度で東陽中学校を牽引してきた今年の三年生。最後まですばらしい成果を残してくれることでしょう。

二年生は四月から最上級生となり、卒業生に代わって東陽中学校をリードして行かねばなりません。一年生もいよいよ後輩が入学し、先輩としての生きざまを見せて行かねばなりません。平成二十九年年度が終わろうとしているこの時期には、進級の心構えと具体的な準備が必要です。今年度、目標に掲げた項目で、達成が不十分になるうとして目をつけ、原因と次にチャレンジする際の作戦をしっかりと考えましょう。同じ失敗を繰り返すようでは大切な時間を無駄にしたことになりません。中学生でいられる時間は思いのほか短いものです。一日を大切に、一瞬のチャンスを逃さない生き方を身に付けた人が成功を収めるもの。平昌オリンピックで活躍した日本人オリンピックアンに学んだことを実践してみよう。

く 広島・京都・大阪く 二泊三日六万円の修学旅行を検証し今後に活かす

東陽中学校二年生は、二月四日より二泊三日の日程で修学旅行に行きました。昨年度は五月に実施。熊本地震直後で、予定した時期の開催が心配されましたが、新幹線の被害も少なく、無事に思い出を刻むことができました。しかし、生徒数の減少から、一人当たりの費用が高くなり、検討を迫られました。

そこで、今年度は開催時期と見学地を一部変更し、結果として一人当たりの費用を一万円ほど下げることができたのです。十二月よりJRの料金が下がりますが、他校がこの時期に開催するため、宿等が取れません。二月の初めが少ないので、この時期に決定しました。今回は予想以上に寒く、インフルエンザの流行には勝てませんでした。

利点としては、京都のバスが他の修学旅行生で混むことなく予定より多くの見学地に行けたこと。USJもアトラクションを多めに楽しめたことです。消費税が上がると個人負担も増加。再度、見学地の変更を含めた検討が必要となります。

市電利用で経費が削減できる広島は平和学習にも最適の地。



USJは生徒・保護者に人気のスポット。年々入場料が値上がり。



京都ではバス待ちのロスも少なく、五月より見学地が増やせた。

～外部委員による「学校関係者評価」を基に新年度への準備を加速させます～

1年生理科の授業参観は理科室にて実施。積極的に意見を發表した。



2年生の立志式は歩いて河侯まで移動。山村広場の石段で、一人一人が色紙に書いた言葉で決意表明。その後、保護者から手紙をいただき感謝・感動。



本年度も学校評議員四名を含む計七名の学校評価委員の方々より、「学校関係者評価」を実施していただきました。

二月十六日の給食時間より、一年生と三年生の各教室で、生徒と一緒に会食を行っていただきました。久々の学校給食を味わいながら、子どもたちの会話を楽しんでおられました。その後、実施した授業参観にも参加していただきました。一年生理科、三年生体育の授業に加えて、二年生は立志式を河侯山村広場で開催。保護者のご協力で、温かいだご汁のごちそうを堪能しました。

評価いただいた結果を下記に紹介しておきます。七名全員の評価で「4」をいただけるよう、今後も学校総体で実践を継続していきたいと思っております。

～ 学校関係者評価 ～ 平成30年2月実施

生徒・保護者の学校評価結果を参考に、平成29年度東陽中学校経営方針の内容に沿って評価いただいた主な結果が以下のものです。

- 1 生徒・保護者と教師、生徒相互、教師相互の信頼関係の強化 7名の平均値 3.4
- 2 学校や地域に対する誇りをはぐくむ教育 7名の平均値 3.7
- 3 学校組織としての教育力の高揚 7名の平均値 3.6
- 4 人権尊重の視点に立った教育実践 7名の平均値 3.3
- 5 指導力、授業力の向上 7名の平均値 3.4
- ※ 評定の基準 4:目標を十分に達成、3:ほぼ目標を達成、2:やや不十分、1:改善を要する

それぞれの項目への講評もいただいております。詳細な内容は東陽中学校のホームページに掲載予定です。そちらをご覧ください。

3年生体育バドミントンの授業。保護者の参加で盛り上がった。



最後までご覧頂きありがとうございました。